



ViECO
Technologies

2023年 3月期 決算補足説明資料

ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社



2023年 5月10日

証券コード:6698

1. 2023年 3月期 決算概要

2. 2024年 3月期 業績予想

1. 2023年 3月期 決算概要

2. 2024年 3月期 業績予想

市場動向

1

- ▶ 新型コロナウイルスの影響による需要減少やサプライチェーンの混乱から、経済活動正常化の兆しが見えはじめ、車載向けを中心に主要な需要先で回復傾向がみられる。
- ▶ 一般向けAIのコモディティ化、5GやIoTの拡充など、先端技術の普及により高性能・高付加価値な電子部品への需要が更に高まっている。
- ▶ 一方で、依然として半導体不足や原材料価格の高騰によるマイナス影響が続いており、サプライチェーン再構築の動きが活発になっている。

事業概況

2

- ▶ 中国広域のロックダウンの影響により営業活動の停滞、スマホ向けの需要の減速、当社顧客層の部材不足等に伴う生産調整により出荷減速。
- ▶ EV関連メーカー向けの受注が拡大（コネクタ、電子部品等）。
- ▶ HDD関連需要の継続的な上昇により民生機器が続伸。

グローバル展開

3

- ▶ ベトナム ハノイに東南アジア第三の営業拠点として ViSCO Technologies Vietnam Company Limited を新設、2023年1月から営業開始。
- ▶ 中国における営業体制の拡充を目指し、蘇州に必速勘貿易（上海）有限公司 蘇州分公司を開設、2022年5月から営業開始。

研究開発／Collaboration

4

- ▶ AIハイブリッド画像処理製品リリース。
- ▶ 産学共同研究開発推進。

2023年 3月期 連結決算ハイライト

Point

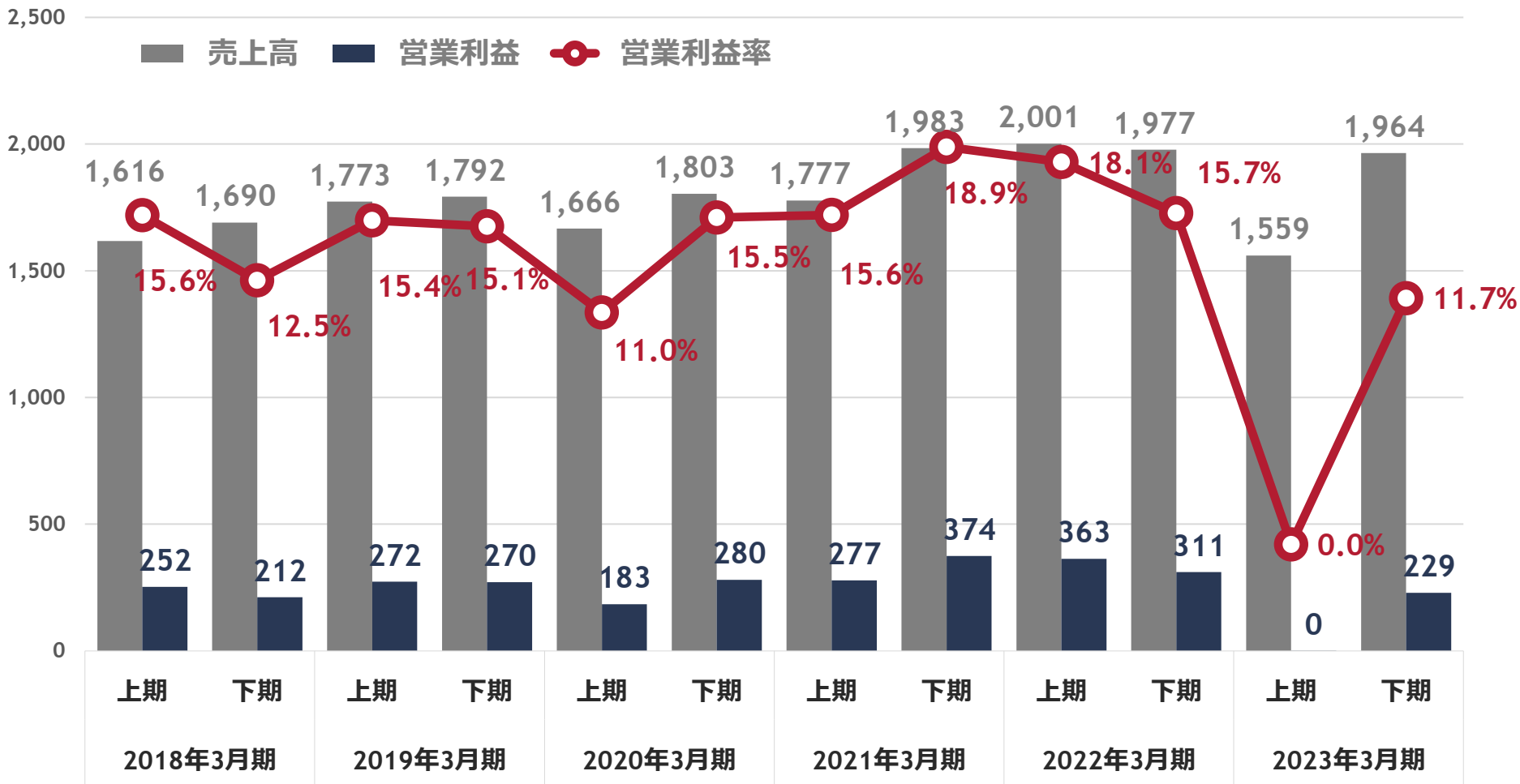
- スマホ向けが大幅に減少。中国でのロックダウンの影響による営業活動の停滞、半導体・電子部品不足による部材調達困難に伴う取引先メーカーの生産調整の影響を受け、減収。
- 半導体・電子部品不足の影響を受け部材価格高騰の懸念があったものの、粗利率はほぼ横ばいを維持。
- 販売費及び一般管理費は概ね計画通り推移（人員増強、オフィス増床による固定費増加）したものの、減収に伴い営業利益が圧縮。

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2023年3月期	前年同期 比較	同期予想 比較
	実績	業績予想	実績		
売上高	3,979	3,610	3,524	▲454 88.6%	▲85 97.6%
営業利益	674	230	229	▲444 34.1%	▲0 99.9%
経常利益	691	260	244	▲446 35.4%	▲15 94.1%
親会社株主に帰属する純利益	463	130	102	▲361 22.0%	▲27 78.6%
1株当たり純利益 (単位：円)	73.99	20.93	16.57	▲57.42 -	▲4.36 -

連結売上高・損益推移

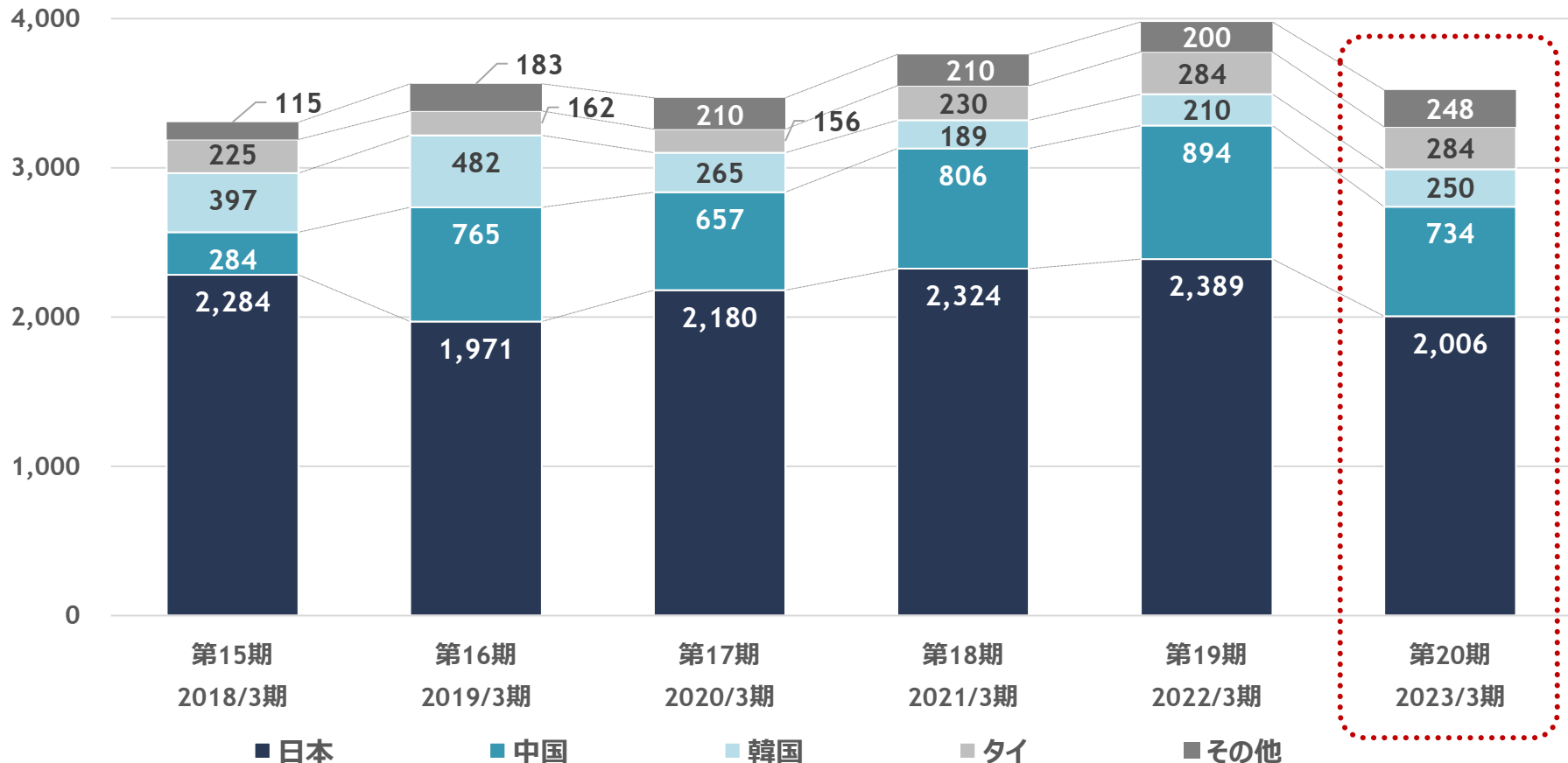
(単位：百万円)



得意先地域別売上高推移(連結)

Point

- 中国のゼロコロナ政策、スマホ出荷低迷の影響で中国の売上が減少し、全体構成比も低下。
- 国内売上はスマホ用電子部品及びコネクタが減少。
- 韓国は車載関連用途が増加し、全体の構成比が上昇。タイは堅調。



検査用途別売上高構成推移(連結)

Point

- スマホ検査用の電子部品が大きく減少したことで電子部品比率が低下。
- コネクタは、各社スマホ用途から車載用途へのシフト加速。
- 半導体は半導体装置メーカー向けを中心に増加。

4,000

3,000

2,000

1,000

0

第15期
2018/3期

第16期
2019/3期

第17期
2020/3期

第18期
2021/3期

第19期
2022/3期

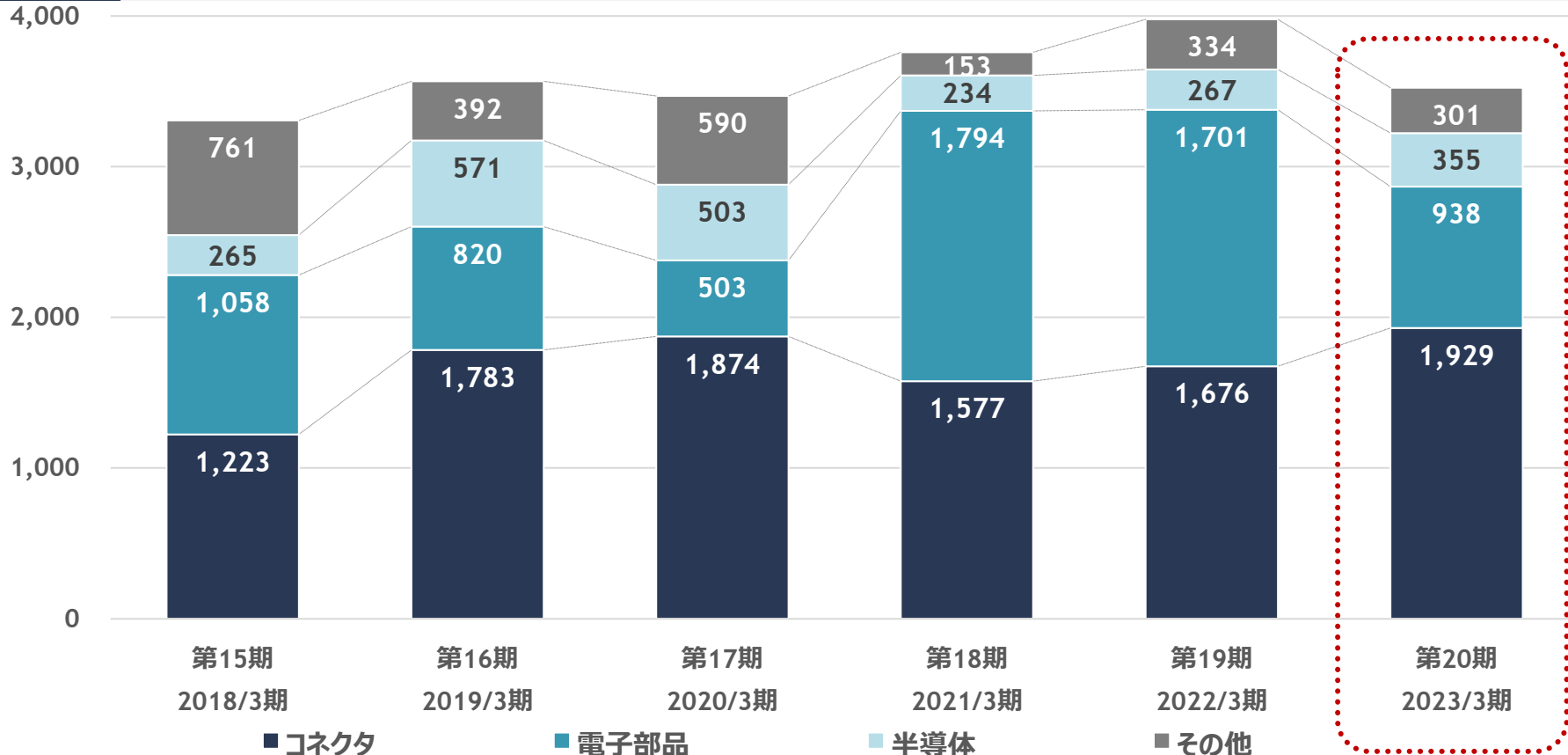
第20期
2023/3期

■ コネクタ

■ 電子部品

■ 半導体

■ その他

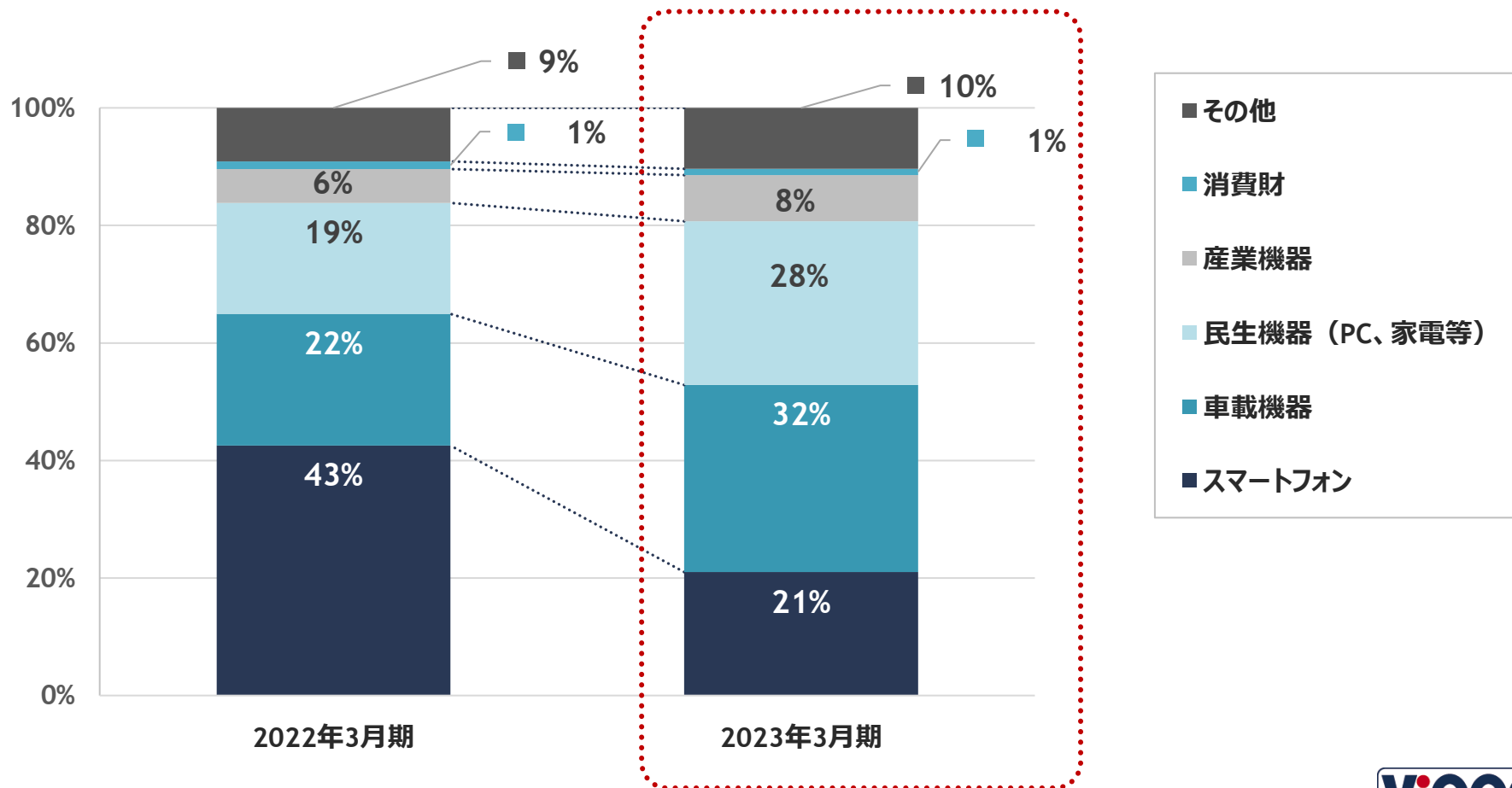


注) 従来「その他」の用途に含めていた内容を精査し、LED検査など、一部電子部品領域に近いものを2021年3月期より「電子部品」にて集計しております。

最終用途別売上高構成(連結)

Point

- 車載機器：電子部品の新規案件に加えてコネクタメーカーのスマホ向けから車載向けヘシフトした結果、急増。
- スマホ：中国での出荷減、日本での大型投資一巡の影響により全体構成比が低下。
- 民生機器：HDD、PC向け等が好調。

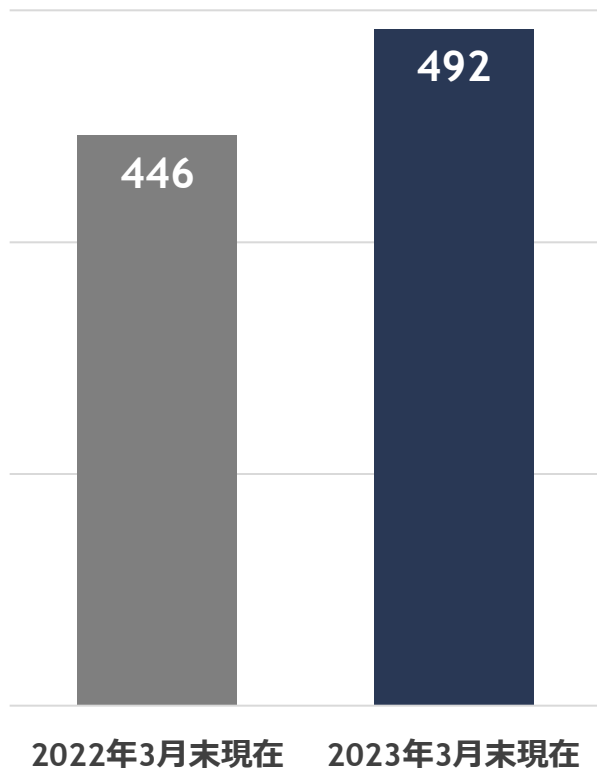


Point

- 期末受注残高：前期末対比 + 10.2%
- 当期受注額は微減。

受注残高の推移

(単位：百万円)



▼ 受注残高

(単位：百万円)

2022年3月末現在	2023年3月末現在	前年同期比較
446	492	+45 110.2%

▼ 受注金額

(単位：百万円)

2022年3月期	2023年3月期	前年同期比較
3,674	3,651	▲23 99.4%

2023年 3月期 連結貸借対照表

▼ 資産の部

単位：百万円	2022年 3月期	2023年 3月期	前期比
流動資産	4,070	4,192	+121
現金及び預金	2,258	2,466	+207
売上債権	1,145	1,068	▲76
棚卸資産	587	559	▲27
その他	78	96	+17
固定資産	485	437	▲47
有形固定資産	153	140	▲13
無形固定資産	204	189	▲15
その他	127	107	▲19
資産合計	4,555	4,629	+73

▼ 負債・純資産の部

単位：百万円	2022年 3月期	2023年 3月期	前期比
流動負債	685	963	+277
仕入債務	214	170	▲43
短期借入金 (※)	123	451	+328
その他	347	341	▲6
固定負債	326	82	▲244
長期借入金	251	0	▲251
その他	75	82	+6
負債合計	1,012	1,045	+32
株主資本	3,304	3,250	▲53
その他	237	332	+94
純資産合計	3,542	3,583	+41
負債・純資産合計	4,555	4,629	+73

※ 短期借入金と1年以内返済予定長期借入金の合算額を記載しています。

(単位：百万円)

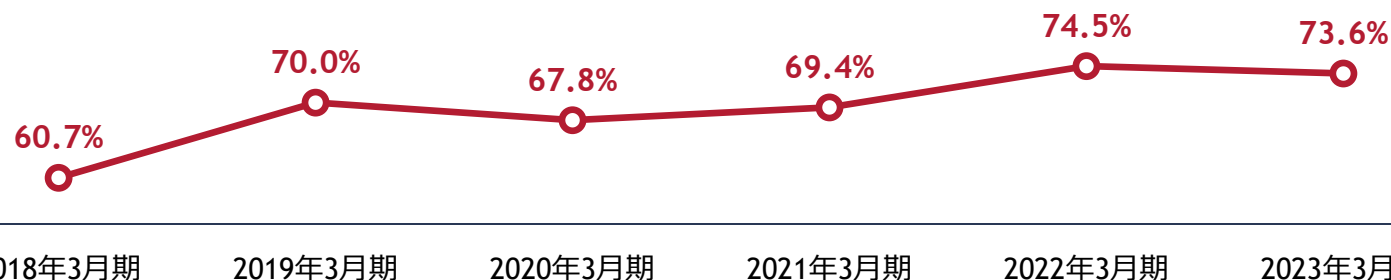
2023年 3月期 連結キャッシュフロー

▼ キャッシュフロー

	2022年3月期	2023年3月期	前期比
営業キャッシュフロー	117	400	+283
投資キャッシュフロー	▲201	▲130	+70
フリーキャッシュフロー	▲83	269	+353
財務キャッシュフロー	▲123	▲133	▲9
現金・現金同等物の増減額	▲137	+206	+344
現金・現金同等物の期首残高	2,332	2,195	▲137
現金・現金同等物の期末残高	2,195	2,401	+206

(単位：百万円)

▼ 自己資本比率 推移



価値創造のための開発投資 成果

- 新市場開拓のためのVTV-Edgeリリース。
- AI-とルールベース画像処理ハイブリッド製品VTV-AI Studioリリース。
- 汎用マシンであるVTV-9000に更に新機能を搭載し差別化。
- 次世代マシンを想定した研究開発継続中。

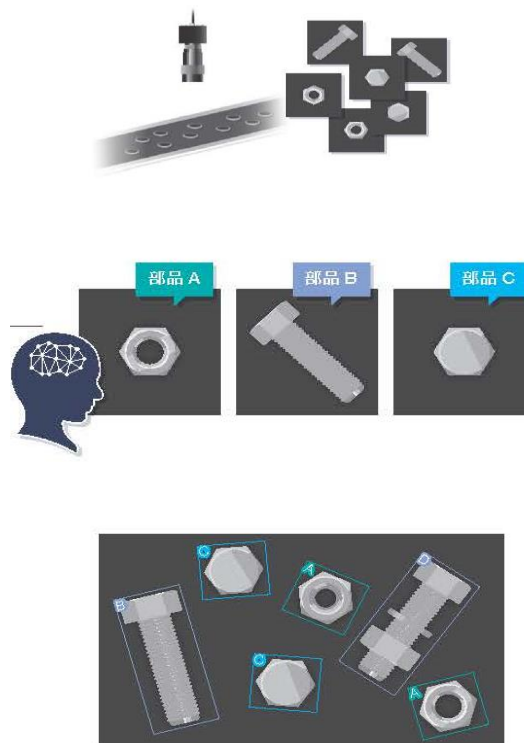
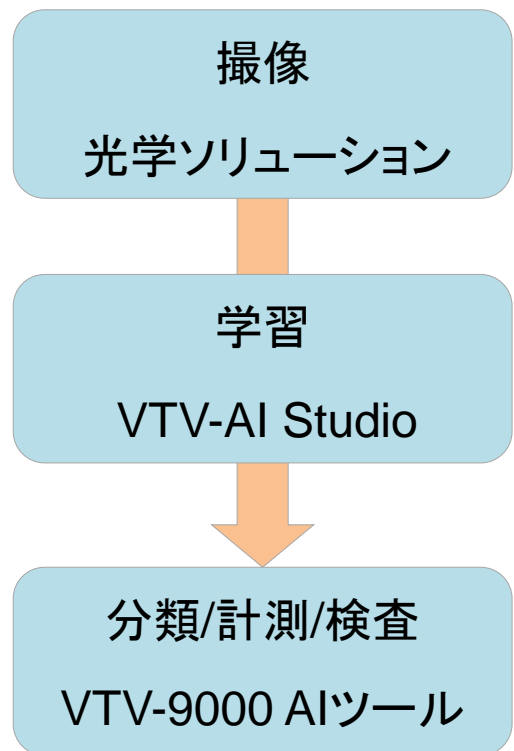
Point

2023年 3月期 実績

(単位：百万円)	上期 計	下期 計	通期合計
設備投資 (ソフトウェア開発)	52	42	94
研究開発費	107	106	213
合計	160	148	308



AIとルールベース画像処理とのハイブリッド画像処理検査製品をリリース



FA画像処理検査では、定量的な良否判別基準が要求されます。

そこで、当社では、検査プロセス前段において、AIを用いて、曖昧な要素でも検査対象を判別し、検査プロセス後段で、ルールベースによる画像処理検査により顧客ニーズを満たす画像処理検査を提案しております。

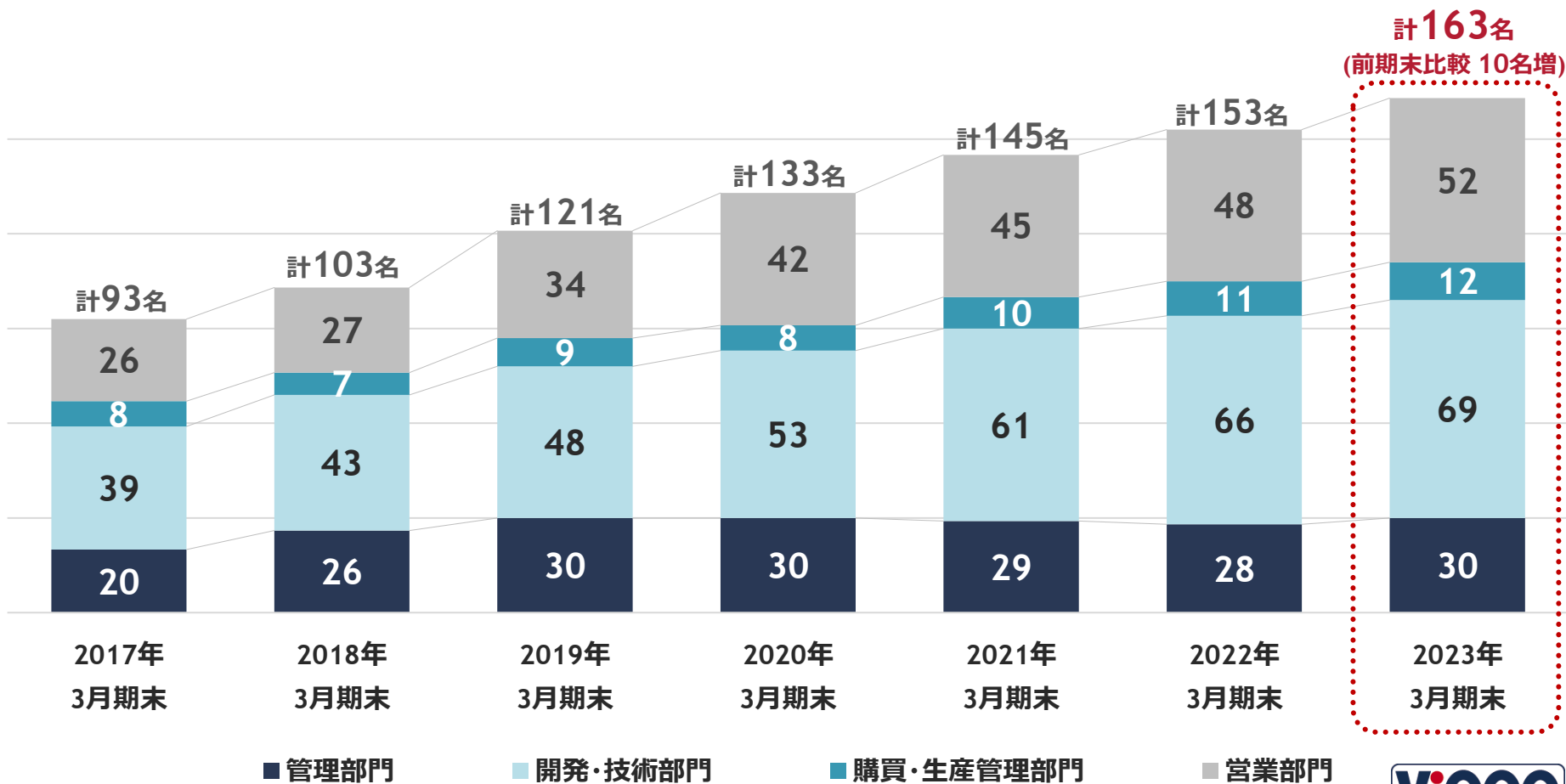
新たなAI画像処理研究の取り組みとして産学共同で推進

1. 深層学習データを3D計測に利用し、高速化・高精度処理に成功
2. 画像生成AIによる文字・形状認識の研究

部門別人員推移(連結)

Point

- 人員数・人員構成は、概ね期初計画の通りに推移。
- 2022年4月新卒入社7名。(2023年4月新卒入社7名。)
- グローバル人材育成を強化。技術・ノウハウの向上等を目的にグループ会社間の人事異動を推進し、新たな能力開発に注力。



1. 2023年 3月期 決算概要

2. 2024年 3月期 業績予想

2024年 3月期 業績予想(連結)

Point

- 工場の省人化/自動化投資、自動車EV化の進行に伴い市場は拡大継続。
- コロナ感染拡大に伴う商談停滞も前期後半から営業活動本格再開し、案件の受注増加を見込む。
- 車載向けは、半導体不足の影響懸念があるものの、EV化の流れで増加見通し。
- 中国のスマホ低迷続くも、営業拠点と人員増強により他用途展開、潜在需要の掘り起こしを進める。
- 東南アジアはマレーシア、ベトナム拠点での人員増強により継続的に成長を見込む。

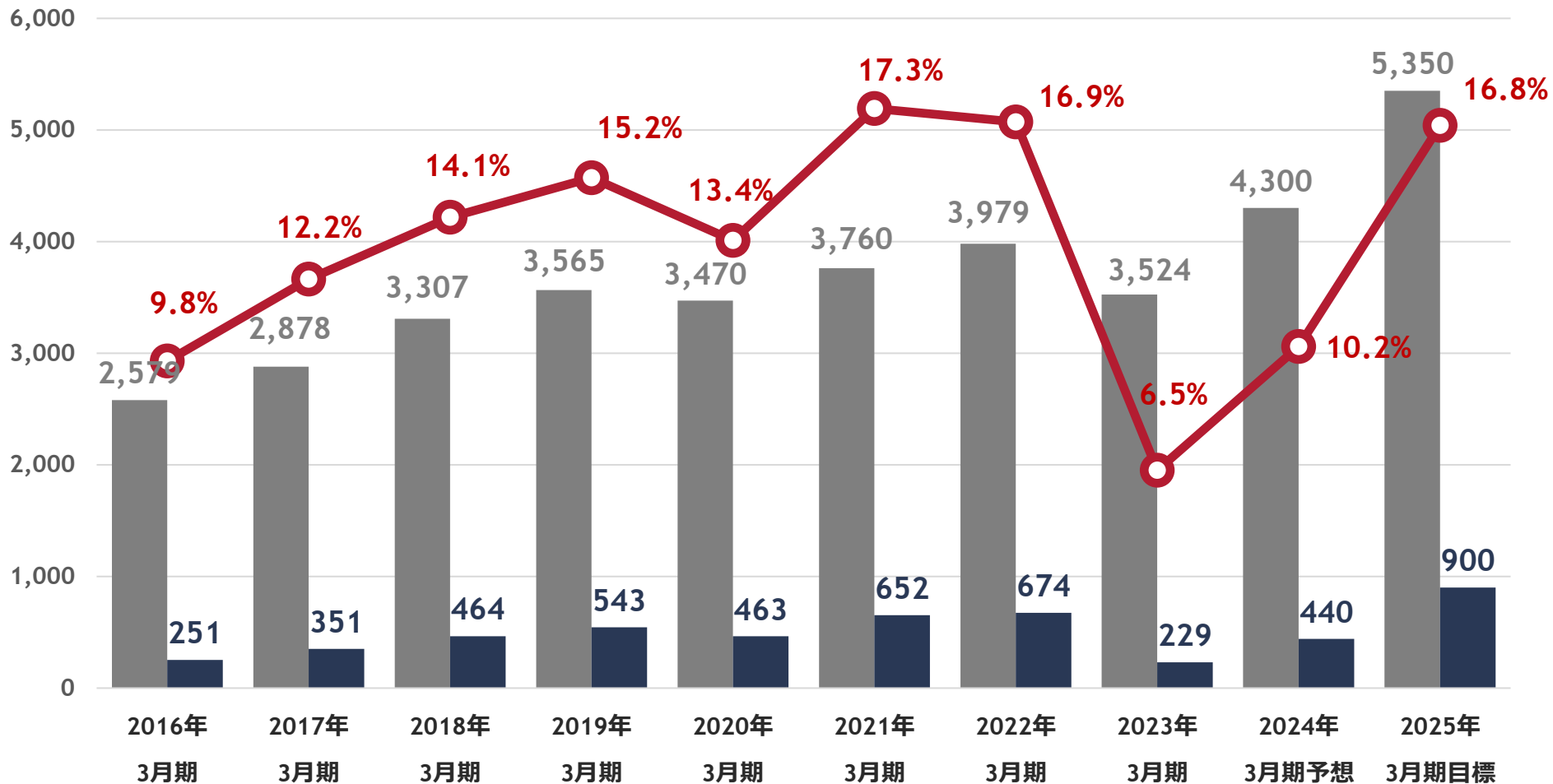
(単位：百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 業績予想	前年度比較
売上高	3,524	4,300	+775 122.0%
営業利益	229	440	+210 191.4%
経常利益	244	520	+275 212.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	102	340	+237 332.9%
一株当たり当期純利益 (単位：円) (注)	16.57	55.17	+38.60 -

連結売上高・損益

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率

(単位：百万円)

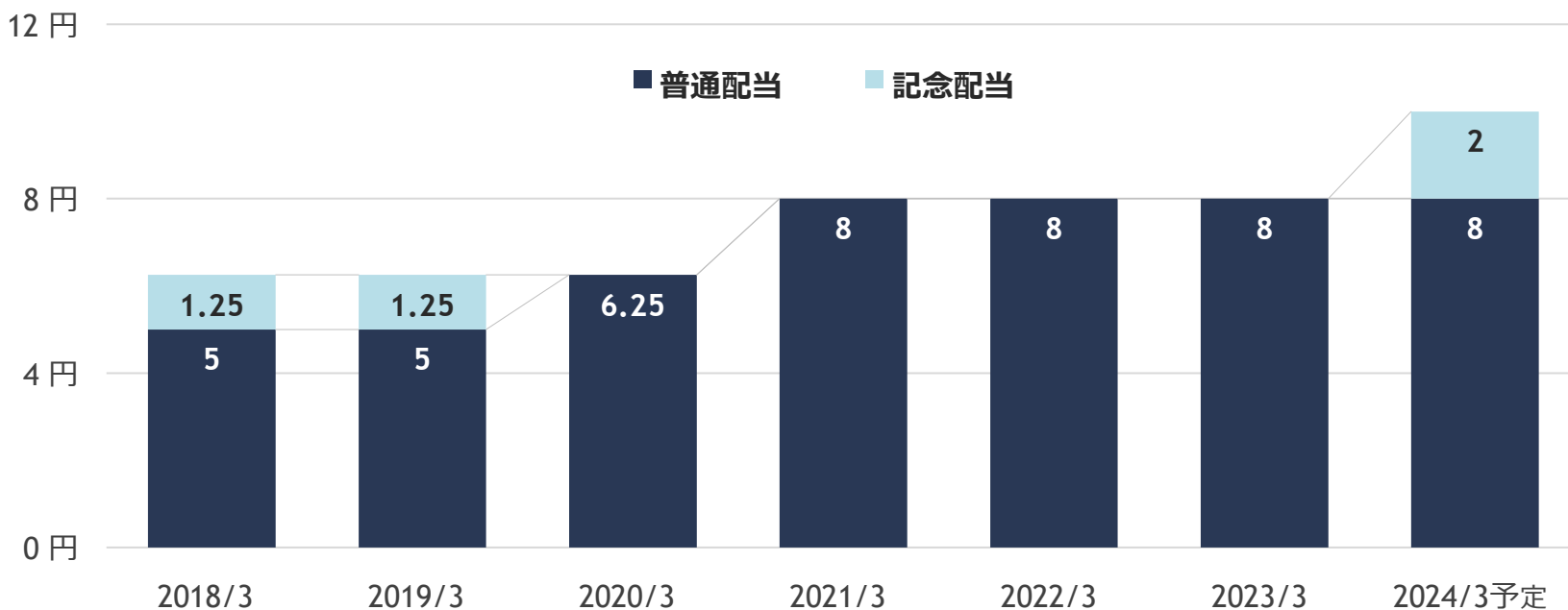
(単位：%)



当社は、2023年8月をもって、創立20周年を迎えます。

これを記念し、2024年3月期末配当として普通配当8円に記念配当として2円を加え、

合計10円の配当を予定しています。



	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3 予定
記念配当	1.25	1.25	-	-	-	-	2
普通配当	5	5	6.25	8	8	8	8
配当合計	6.25	6.25	6.25	8	8	8	10

Appendix

会社概要

画像処理検査といえば “ ViSCO ”

画像処理技術を広めることにより
豊かな社会づくりに貢献する

画像一筋

“究極の画像処理システム”
を追及する

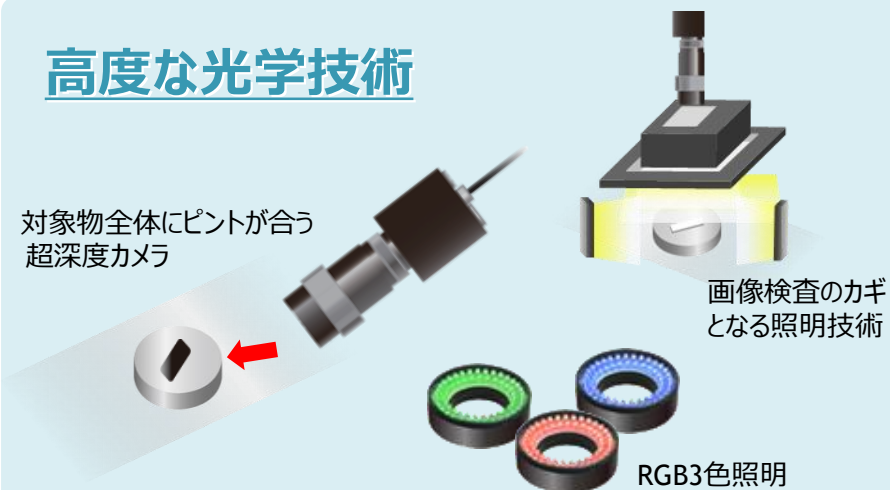
顧客満足度の高い画像ビジネスの
トータル・ソリューションを創造し、
画像処理システムクリエイターとなる

私たちは、画像処理検査に関するエキスパート集団です。
画像技術 (Vision) 一筋に、
さまざまな業種のお客様や技術・機器と強調 (Collaborate) して、
新しい価値を創造する、おもしろいことが大すきな技術者集団 (Technologies) であることから
社名を ViSCO Technologies としました。

当社は、お客様に画像処理検査装置の販売からアフターフォローにいたるまで、幅広い外観検査技術ソリューションを提供いたします。

高度な光学技術

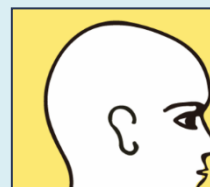
対象物全体にピントが合う
超深度カメラ



検査ニーズに応える 独自の画像処理アルゴリズム



知覚判断

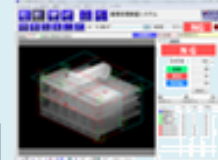


経験判断



認識

画像処理ソフトウェア



サンプル評価
評価レポートの作成



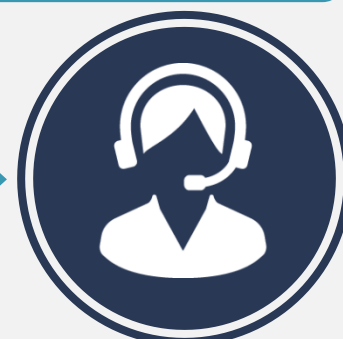
周辺機器の選定
システム提案



導入サポート
技術支援



トレーニングプログラム



アフターフォロー

VTV-9000 シリーズ

VTV-9000シリーズは当社が独自に開発したソフトウェア **VisionManager** と、ハードウェアを一体化した筐体型画像処理検査装置で、60を超える高性能な外観検査アプリケーションを搭載しています。

タイムタクト削減を実現する 高速ハードウェア

高精度な画像処理検査を実現する高速CPUを搭載。高解像度カメラを接続しても余裕の処理能力に加え、大容量ストレージを内蔵しているので、転送速度を気にすることなく検査画像の保存が可能に。

お客様の多様なニーズに応えるべく、処理速度・性能ともに優れたスタンダードモデルを中心に、コストパフォーマンスに優れたベーシックモデルからすべての機能を最大限に活用できるハイエンドモデルまで、ラインナップが豊富です。



ハイエンドモデル VTV-9000ST



VT Digital カメラ

画像転送速度が超高速なカメラから、超高画素カメラまで、検査に最適なカメラを選べるよう類を見ないほどの豊富なラインナップを取り揃えています。

照明コントローラ

画像取り込みのタイミングに合わせたLED照明の点灯・消灯・調光の制御が可能に。

LED照明の接続数に応じて機種を選択できます。

LED照明

画像処理検査の成功のカギとなる照明機器、当社では、当社エンジニアが豊富なラインナップの中から、検査に最適な画像を取得できる照明を選定し、提案します。

一般的な照明
での検査画像



明るさが足りず検査
が困難

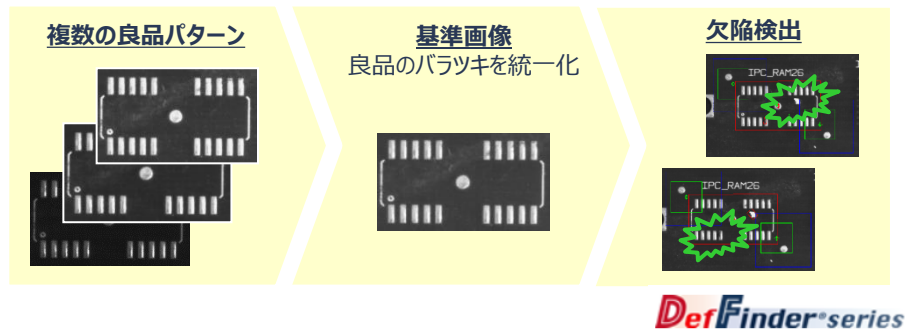
当社オリジナル
高輝度LED照明
での検査画像



最適な画像で検査が
可能

DefFinder®

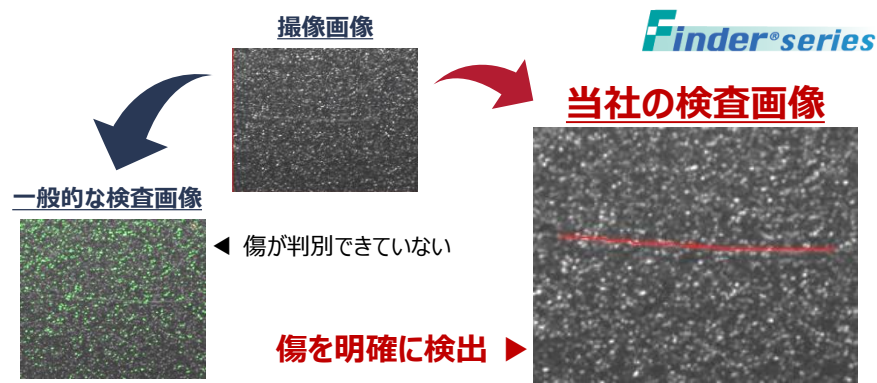
良品のパラツキを考えて欠陥だけを検出できるアプリケーション。複数の良品モデルを登録し、基準となる画像を認識することで、傷・汚れ・異物などの欠陥を検出する外観検査ソフトウェア。



CrackFinder®

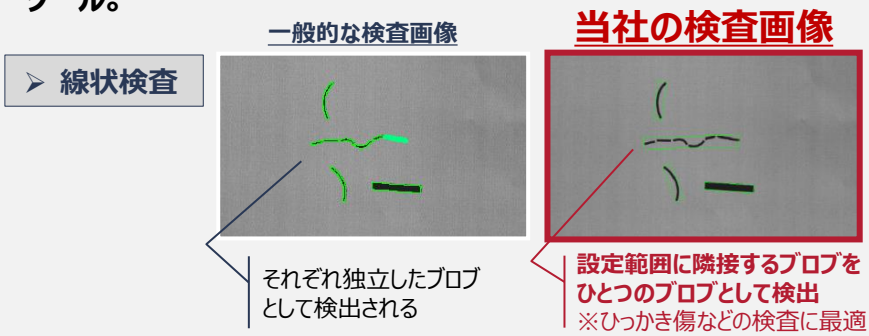
傷の判別が難しい素材でも、画像背景と傷を区別し、高精度な検出が可能なアプリケーション。

* CrackFinder®は、当社が開発した特許技術が活用されています。



傷・異物検査

ブロブ (Blob=塊) の有無、数、面積、位置などを検出するツール。



照明条件により影ができ画像検査が困難な円筒形の検査対象でも、照明反射なく傷のみを検出することが可能なツール。





公益社団法人精密工学会 画像応用技術専門委員会 主催 外観検査アルゴリズムコンテスト 受賞歴

2008年 特別賞 受賞

2009年 最優秀賞 受賞

2010年 優秀賞、ロジスティクス賞 受賞

2012年 優秀賞、ロジスティクス賞 受賞

2013年 優秀賞、特別賞 受賞

2014年 優秀賞、特別賞 受賞

2016年 優秀賞、レゾナンスバイオ賞 受賞

2017年 最優秀賞、レゾナンスバイオ賞 受賞

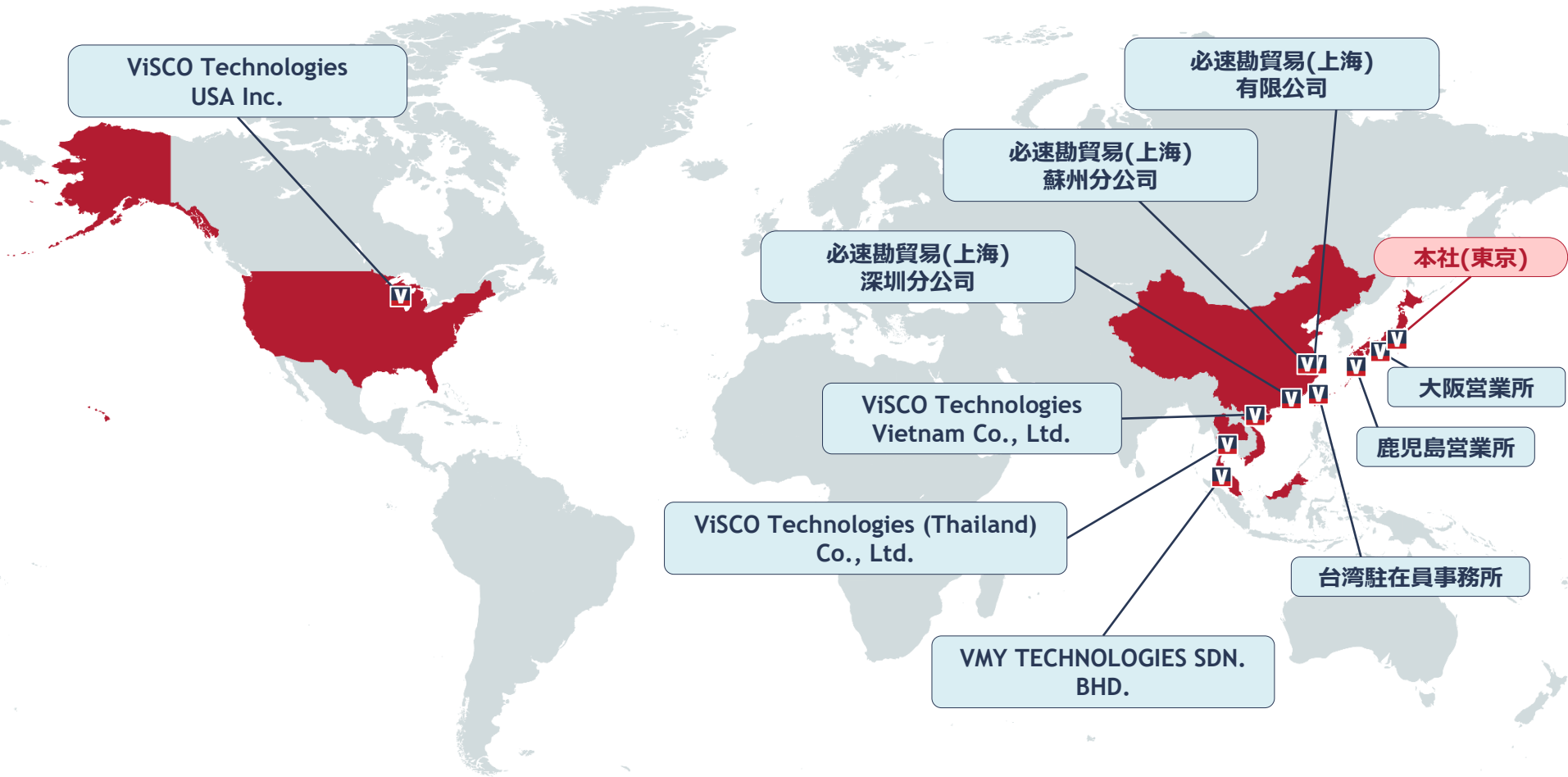
2018年 最優秀賞、レゾナンスバイオ大賞 受賞

2020年 優秀賞、理研ボクセル賞 受賞

2021年 最優秀賞、理研ボクセル大賞 受賞

外観検査アルゴリズムコンテストは、画像を用いた外観検査技術発展を目的に、主催：画像応用技術専門委員会、共催：国立研究開発法人理化学研究所 画像情報処理研究チームにより、毎年開催されております。







持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）は、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択されました2030年までの世界共通の国際目標です。SDGsでは、「誰一人取り残さない（No one will be left behind）」という基本理念のもと、SDGsが掲げる17の目標は、官民、営利、非営利、組織、個人の区別なく、持続可能な世界を目指し、皆で協力して取り組むことが求められています。

サステナビリティ基本方針

ヴィスコ・テクノロジーズグループは

あらゆるステークホルダーの期待を受け止め

企業理念に掲げる「画像一筋」に従い

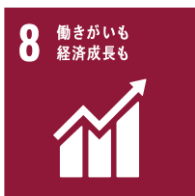
事業活動を通じて

持続可能な社会の実現と

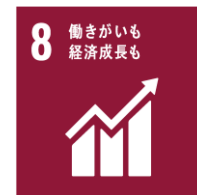
企業価値の向上を目指します

サステナビリティ重点課題

事業活動による取り組み



事業活動を支える取り組み



当社グループは、当社製品・サービスをご提供することで、産業革新の促進、工場等の生産性や効率性の向上、働く人々の安心安全な労働環境確保を追求し続けてまいります。
また、活発で多様性のある組織づくりを目指し、従業員の「幸せ」を追求するのと同時に、平和で公正な社会の実現に向けて事業活動を続けてまいります。

私たちは、**画像一筋**です。



2003年 8月



ViSCO Technologies 株式会社 設立

2008年 3月

筐体型画像処理検査装置VTV-9000 シリーズ発売

2010年 3月



必速勘貿易(上海)有限公司 設立

2012年 2月



ViSCO Technologies (Thailand)Co., Lte. 設立

2014年 3月



ViSCO Technologies USA, Inc. 設立

2017年 12月

東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 市場 株式上場

2018年 12月

東京証券取引所 市場第二部 上場市場変更

2019年 10月



VMY TECHNOLOGIES SDN. BHD. 設立

2022年 4月

東京証券取引所 スタンダード市場へ移行

2023年 1月



ViSCO TECHNOLOGIES Vietnam Co., Ltd. 設立

会社名	ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社
代表取締役社長	足立 秀之
本社所在地	東京都港区海岸1丁目11番1号ニューピア竹芝ノースタワー
設立	2003年8月
資本金	493百万円（2023年 3月末現在）
国内事業拠点	大阪、鹿児島
海外事業拠点	中国（上海、深圳、蘇州）、タイ（バンコク）、米国（イリノイ州）、マレーシア（ペナン州）、ベトナム（ハノイ）、台湾（台北）
従業員数	163名（2023年 3月末現在）
事業内容	画像処理検査装置の開発、製造、販売
証券コード	東京証券取引所スタンダード市場（6698）

IR に関するお問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、
管理本部 IR担当までお願い申し上げます。

Tel : 03-6402-4500

Mail : info-ir@visco-tech.com

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

私たちは、画像一筋です。